

多汁飼料の家畜根菜類

生育早く家畜かぶ

二〜三カ月で収穫出来るかぶ、多汁で泌乳効果も大きいかぶ、つくりやすく、春まきでも、真作にも手やすく増産が出来ます。多収品種としては次のものをおすすめします。

① 雪印改良紫かぶ……早生で七〇〜九〇日で、収穫出来ず。早どり用、おそまき用として使うのが上手なやりかたです。紫色。

② 下総かぶ……中生種で一〇〇日〜一一〇日で収穫出来ます。根部は白、巨大で、肉質堅く、関東、関西向き多収品種です。

③ 小岩井かぶ……中生種で九〇日〜一〇〇日位で収穫出来ます。根部は白、巨大となり、東北地方の適品種です。

④ セブントップ……晩生種で一〇〇日〜一二〇日で収穫が出来、根部白色、巨大で、関西以西の暖地向、晩生種です。

耐寒の根菜 ルタバガ

北海道の北で広く利用されるルタバガは、冷涼な気候に適し、酸性地や排水不良地でも良く生育します。暖地では暑さに弱いので、冬作しますが、田畑の真作に適し、根部は巨大で堅く、茎葉も又、収量の多いものです。

① グリントップ……根部は緑色、巨大な耐病性のつよい品種。

② スムーズラウンド……根部は紫色、ひげ根が少く、扱いやすい品種。

根菜の上手なつくり方

根菜の増産は、堆肥を充分あたえることが第一条件ですが、次の注意も守りましょう。

① 播種期……冷涼な気候に適しますが、葉の生育には日光と温度が必要です。従つて余りおそまきは感心しません。八月中旬から九月上旬にまきましよう。

② 間引……初期に害虫にやられることがあるので、薬剤をかけますが、間引がおくれるとこれ又あとまで生育を悪くします。本葉二、三枚までに間引くこと。但し平床にまき、逐次間引いたものを給与する方法もあります。ルタバガは間引いたものを移植します。

③ 畦幅……株間は余り密植しないこと、肥料は堆肥肥の外に、速効性の化学肥料も施すこと、その基準量は左表を御覧下さい。

畑地裏作用飼料作物の栽培法

利用時期	作物名	播種量(キロ)	播種法	播種期	生育日数	一〇㎡当収量(キロ)	施肥量(キロ)	硫酸過石確加
晩秋	デントコーン	一〇〜二〇	条播	八下〜九中	五〇〜六〇日	二〇〇〇〜三〇〇〇	二	三
冬	ケール(C・O)	二〇〜三〇	育苗移植	九上〜一〇上	一〇〇日より	三〇〇〇〜五〇〇〇	二	二
冬	ルタバガ	二〇〜三〇	条播	九上〜一二下	五〇日より	二〇〇〇〜五〇〇〇	二	三
春早〜冬	イタリアンライグラス	二〜三	条播	六日より	六〇日より	二〇〇〇〜六〇〇〇	二	二
春早	クリムソニックローバー	一〜二	条播	八下〜一〇中	一六〇日	二〇〇〇〜六〇〇〇	二	二

改良の草の畦畔

畦畔は、肥沃で水分も充分あり、牧草の増産にはもってこいです。狭いようですが、水田面積の一割はあります。段々の水田では、二割も三割もあるでしょう。どうせ草は刈るのですから、ここを良い牧草に切りかえましよう。牧草は次の組合せが適当です。(反当播種量はキロ)

- 一例
オーチャード
ラデノクロバー
〇・五
- 一例
ペレニアルライ
〇・五
- 二例
赤クロバー
(又はアルサイクローバー) (〇・五)
レッドトップ
〇・二五
メドウフェスク
〇・五

関東以北では八月上旬、関東以西では九月下旬から十月上旬に、畦の草を刈り、表土をかきおこし、肥料とたねを混ぜてまきます。あとは踏みつけておけばよいのですから簡単です。あと晩秋又は越冬前に、雑草のひどい時は掃除刈りをしておけば、翌春からは、見事な牧草が生えそろう、しかも畦のくずれののも防ぎます。